

Public Information Furubira

2015 [平成27年]

広  
報

# ふるびら



平成  
27年  
成人式会場



1月11日 平成27年古平町成人式  
(撮影場所:文化会館)

# まちづくりアンケート 調査速報!!

送付数 A	回答数 (返信数)	有効 回答数 B	有効 回答率 B/A × 100
1,150人	485人	483人	42.00%

(参考) 平成22年実施時の回答率

1,150人	505人	502人	43.70%
--------	------	------	--------

## 回答率

今後のまちづくりに町民の皆さんが日頃考えている意見を反映させるための「まちづくりアンケート」を、昨年11月14日～12月1日にかけて行いました。回答率(返信率)は次のとおりです。  
現在、その他の内容を取りまとめ中ですので、まとも次第お知らせいたします。  
なお、アンケートにご協力くださった多くの皆さんにお礼申し上げます。

## 年代別・回答率

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
送付者数	60人	170人	170人	170人	170人	170人	240人	1,150人
回答者数	13人	43人	57人	64人	79人	92人	135人	483人
回答率	21.70%	25.30%	33.50%	37.60%	46.50%	54.10%	56.30%	42.00%

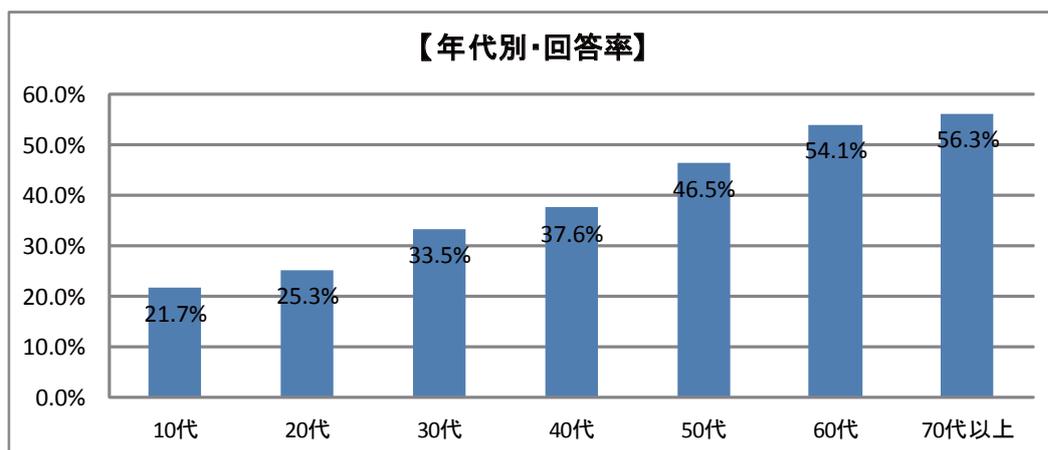
年代別・回答率では「50代」以上のすべての年代で、全体の回答率である42.0%を上回りました。  
傾向として、年代が高いほど回答率も高くなっています。

## ◇担当

役場 総務課 企画調整係

(本間・齊藤)

☎ 42-2181 (内線26)



町の出来事

1月6日、文化会館で、北後志消防組合古平消防団（高野俊和団長）の出初め式が行われ、出席した団員の24人が地域防災や防火への意識を新たにしました。

消防車輛など5台による町内パレードの後、第1会場である同会館前駐車場で団員の服装点検や高野団長から統監を務める本間町長への人員報告などが行われました。



# 防災・防火への意識を新たに 平成27年 古平消防団出初め式

会場を文化会館太陽ホールに移してからは、功労消防団員の表彰などが行われました。（表彰者は左表のとおりです）

本間町長は「気持ちを新たにこれから1年間、消防団と行政の最大の使命として、町民の生命と財産を火災や災害から守ることに尽力していただきたい」と激励しました。

式の終りには、高野団長が「団員が一丸となって日頃の救命救急活動及び防災・防火活動に力を注いでまいる」と答辞を述べました。

平成27年古平消防団出初め式 表彰状伝達者

北海道知事 表彰	20年 勤続	班長	真 浦 博
北後志消防組合管理者 表彰	10年 勤続	団員	越 善 桂 介
		団員	平 尾 光 一 郎
北海道消防協会長 表彰	10年 勤続	団員	越 善 桂 介
		団員	平 尾 光 一 郎

## 古平福祉会と協定締結

1月14日、役場と古平福祉会が「災害時等における施設の利用及び協力に関する協定書」を締結し、その締結式が役場会議室で行われ、本間順司町長と木村輔宏理事長が署名し書面を取り交わしました。

協定書には、災害から住民の生命・身体を守るため避難所等を確保し避難体制の充実を図ること、避難者の救護等を円滑に実施するため炊き出し支援施設の確保を図ることを目的として、相互

の連絡・協力体制、災害時に古平福祉会所有施設を避難所や炊き出し施設等として使用するために必要なことが盛り込まれています。

本間町長は「最近はいつどこで災害が起こるかかわからない。町内各所にある古平福祉会の施設を利用させていただけるとはありがたい」と話していました。



## 安澤二太郎さん瑞宝単光賞

長年、消防団員として活躍された安澤二太郎さん（新地町）が、12月1日、日本国天皇より瑞宝単光章が授与され、12月26日、役場町長室において本間町長より授与証などが伝達されました。

瑞宝単光章は、公共的な業務に長年にわたり従事して、功労を積み重ねた方に授与されます。

安澤さんは、昭和22年9月から昭和57年4月まで



の34年余り、消防団員として数々の火災現場や災害現場で活躍されるとともに、団員の教育訓練・育成強化にも尽力されてきました。

# 新成人が力強く大人宣言

## 平成27年 古平町成人式

おめでとう



宣誓する田岸宗大さん（右）と作佐部憂菜さん（左）

1月11日、文化会館で成人式が行われ、25人の新成人が出席しました。会場では、着物やスーツなどの若者が久しぶりの再会を喜び合い、晴れの日を祝いました。

式では、小田嶋竜子教育委員会委員長が「今日という日をきっかけに大人としての自覚を持って新しい一歩を踏み出してほしい」と呼びかけていました。

新成人を代表して作佐部憂菜さんと田岸宗大さんが「知性と教養に富んだ民主的青年として、自己の完成に努めます」などと宣誓したほか、男女各2人による決意表明も行わ



決意発表する青柳紬さん（上段右）、落合萌さん（上段左）、榎本洋平さん（下段右）、柏健太さん（下段左）

れ、それぞれが「相手の気持ちに寄り添える大人になりたい」や「10年、20年先に後悔しないような大人になります」、「これまで育ててくれた両親に感謝します」などと発表していました。

式後の懇親会では、ビンゴゲームやカラオケを楽しみ、幼小中の思い出の写真がスライドで上映されると、懐かしい光景に歓声をあげていました。



(一列目左から) 本庄唯、渡部有紗、梅野祐希、落合萌、田岸宗大、逢見輝輝、本間順司、小田嶋竜子、菊池綾、作佐部憂菜、金子唯、青柳紬、永山咲音梨  
 (二列目左から) 大崎未生、村中慶子、布川陽子、柏健太、柴田大輔、芳賀祐太、山内翔、真浦海斗、江刺家聖矢、木村啓太、本間炊、白川浩一、中原楓太、成田昭彦、菊池修二  
 (三列目左から) 若林耀代、松尾健幸、伊藤充、藤野裕稀、八幡航、小野寺修吾、榎本洋平、高谷聖寿  
 ※敬称略

# 第4回定例会

## 行政報告（抜粋）

12月18日に開会した第4回定例会で町長が「行政報告」、教育長が「教育行政報告を行いました」。

### 総務企画関係

#### ■町づくりアンケート調査実施

平成23年から26年までの4年間を計画期間とし、多目的運動広場、防災無線、防災ハンドブックなどを整備した「古平町市街地地区都市再生整備計画」の効果を分析するためアンケート調査を実施しました。42・2%、485名の方々からご回答をいただき、現在集計と分析作業を行っております。皆さんのご協力に心から感謝を申し上げます。

#### ■電算システム改修

東日本大震災を契機として、災害発生時に日常業務を円滑に再開させることが求められたことから対策を検討し、行政情報の要となっている住基情報、町税情報などを札幌の電算センターと光回線で結ぶこととしました。この総合行政システムクラウド事業が完了し10月1日から稼動しています。来年3月の稼動を目指して作業中の戸籍電算化事業が完了

した際には、万が一役場庁舎が被災した場合に大事な行政情報が毀損する心配はなくなります。ただ、日常業務を円滑に再開させるためには、代替施設を確保しておくことが必須ですが、一自治体では大変難しい問題で今後の課題となっております。

### 税財政関係

#### ■町税収納状況及び収納率向上の取り組み

11月末における町税の収納率を前年同期と比較しますと、軽自動車税のみが3・3%上昇しているほかは、個人町民税が1・7%、純固定資産税が2・0%、都市計画税が1・5%、税総体として1・1%の減となっております。さらに国民健康保険税も0・6%減となっております。また、平成26年度の税収見込額についても対前年度712万3千円（3・1%）減となる見込みであります。

収納率向上の取り組みについては昨年6月に策定した町税等収納率向上対策実施計画の結果検証を行い、今年度も同計画を7月に策定して取り組んでいるところで。

### 民生関係

#### ■冬の給付金事業の実施

今年度も低所得の老人世帯及びひとり親家庭を対象に冬の給付金事業を実施し、助成方法は古平町商店振興会商品券での交付を考えています。交付方法は役場窓口での交付のほか郵送などでの交付も検討しています。

#### ■臨時福祉給付金・子育て臨時特例給付金の状況

臨時福祉給付金は946世帯1、296人、子育て臨時特例給付金は237人の対象児童に対し、146人の保護者等へ支給決定しています。

#### ■火葬場立て替え事業

現在の施設は昭和49年建設で築40年を経過しています。余市町との広域での整備について来年4月から協議を進め、平成27年度中には単独または広域で整備するかの結論を出したいと考えています。

### 保健福祉関係

#### ■予防接種事業

インフルエンザ予防接種は、11月末現在で、65歳以上高齢者は対象者1、411名の約30%となる420名が接種を終えており、若年層に關しては今年度から生後6か月から18歳以下までと対象を広げ、対象者

339名の約44%となる149名が接種を終えています。

今年度から実施の高齢者肺炎球菌予防接種は、11月末現在で接種を終えているのは10名と対象者288名の約3・5%にとどまっています。

#### ■秋の住民健康診査

11月9日から2日間、文化会館と漁港会館で実施した秋の健診は、98名（前年比54名増）が受診され、春期と合わせて231名（前年比47名増）が受診されました。また、特定健診を受けられた68名のうちメタボ該当者は11名、予備群が6名で、春期と合わせると受診者155名のうちメタボ該当者は24名、予備群が20名となりました。メタボ該当者は女性性が全国水準を若干上回っています。予備群では男女ともに全国水準を下回っている状況にあります。

### 産業関係

#### ■作柄状況

水稲は平均反収が471kgと昨年の467kg、一昨年の458kgを多少上回っております。また、ジャガイモは雨不足のため小ぶりとなりましたが、カボチャは平年並みの収穫でした。

#### ■植樹祭の開催

毎年実施している植樹祭が10月25日に開催され赤エゾマツ400本の

苗木が73名の参加者の手によって植樹されました。

■林道・治山工事関係状況

森林管理道チヨペタン線改良工事は12月8日、林業専用道鼻垂石線整備工事は12月9日に完成して受け渡しを終えております。後志総合振興局発注の西の沢川予防治山工事は12月12日に完成をみています。

■製氷・貯氷施設工事の状況

東しゃこたん漁協が事業主体となつて建築にあたつていますが、11月末現在の建築主体工事の進捗率は60%となつており、今後外部建具や腰壁の塗装をし、年末には90%に達するとのことです。また、製氷冷蔵設備工事については、今月から機械工事に着手し年内にはすべての機械の搬入を終える工程となつており、年末における進捗率は50%に達する予定です。

■磯焼け対策事業

浅海部会がコンブ養殖に取り組んでいるところであり、更にはウニ除去による藻場造成の調査についても中央水産試験場と協力しながら実施しているところです。

■11月末漁獲状況

数量で2264ト(前年同月比178ト、7.3%減)、金額では9億1800万円(前年同期比5500万円、76.4%増)となつ

ており、ホツケが高値で推移し、サケも不漁との予測を覆して増加に転じ、更にはタコ、イカ、ヒラメが数量、金額ともに増加したものの、エビ、タラ、オオバは数量、金額ともに減少しています。

■水産加工関係

今年2月に経営破たんした6社のうち2社が新会社を設立し、それぞれ10月と11月に続けて操業を開始したところであり、更には余市町の加工業者が破たんした加工施設を購入し、来年3月にも操業を開始することであり、心から経営の安定を願うばかりです。

■商工会関係事業

今年度2回目のプレミアム商品券を9月30日から3000万円分発売し、12月5日に完売しました。また、「古平町賑わい活性化事業」として実施したマスコットキャラクターの募集は、最終審査が行われ、タラコ等特産品とセタカムイをあしらった大阪の作品が選ばれ「ふるっぴく」と名づけられました。更にはたらこ、ヒメマスを使用した料理コンテストの最終審査も行われ「明太子チャーハン」と「ヒメマスのちゃんちゃん焼風マヨネーズグラタン」が同率で最優秀賞に選ばれています。

■温泉利用状況

温泉「しおかぜ」の11月末の利用者数は4万5008人で前年同期と比べて227人減少となつており、指定管理者が独自サービスとして実施している期間限定回数券のPRに努め増客を図つていきます。

家族旅行村・パークゴルフ場利用状況

家族旅行村の利用者数は施設の改修など環境改善を図り集客増を図りましたが、最終的に3138人と前年度より75人の減となりました。

あいランド広場パークゴルフ場の利用者数は4054人で前年度より307人の増となり、今後もよりよいサービスとコース整備に努めます。

建設水道関係

■国の実施する主な工事

国道5号の新忍路トンネル掘削工事は平成29年2月までの工期で進捗率26%となつており、今年度中に完成予定の国道229号梅川登坂車線整備工事は路盤工及び法面工部分が99%、舗装及び防護柵部分は91%となつています。

■道の実施する主な工事

古平川流下障害解消工事は古平大橋から古平中学校体育館までの区間の堆積土砂1万m<sup>3</sup>を掘削するもので、11月27日に小樽市の宮本土建工業が受注しており、工事期間は平成27年3月20日となつています。

丸山川砂防工事の進捗状況は80%となつております。

■町の実施する工事等

公営住宅関係は清丘団地の解体、中央団地の屋根の葺替え、栄団地の屋根の葺替え及び内窓交換工事は予定どおり完了しました。

11月27日にはロータリー除雪車が納入され西部地区の道路除雪に使用されています。

その他の工事の進捗状況は表1のとおりです。

表1 町の実施する工事 (12月10日現在)

工事名	進捗率
古平町浄水場屋根改修工事	完成
栄通線・7条小路線配水管布設替工事	完成
大通・千才・恵比須通線配水管布設替工事	完成
丸山川河口護岸改修工事	15%

■住宅リフォーム補助金等

12月10日現在での申請件数は前年同期より8件多い22件で、補助金額は183万2千円増の533万8千円となつています。

民間アパート建設費補助金については申込者がなかったため、制度の見直しを含め検討してまいります。

# 教育行政報告(抜粋)

## 学校教育関係

### ■学芸会と学校祭

10月5日に中学校で、同月19日に小学校でそれぞれ行われ、子どもたちは緊張の中にも、練習の成果を十分に発揮できた舞台となりました。

古中祭は今年から日曜日に実施され、例年より多くの保護者の方々にご来場いただき、生徒たちも一人でも何役も抱えながら頑張った学校祭となりました。

### ■地震・津波避難訓練

小学校は9月24日、児童には予告せず突然の訓練放送で避難訓練を行いました。津波警報が発令されたという想定で、高台のグラウンドまで避難しました。

中学校は10月15日、大津波警報が発令されたという想定で、ほほえみくらすまで避難しました。避難完了まで15分以内を目標としていましたが、10分で避難を完了することができました。

### ■弁論大会

後志中文連北地区弁論大会に本校からも校内弁論大会で選出された2名が出場し、1名が3位3席に入賞

しました。このほか、後志英語暗唱大会、税の作文コンクールで受賞するなど文化面での活躍が多く見られました。

### ■第39回 吹奏楽部定期演奏会

10月25日、中学校体育館で吹奏楽部の定期演奏会が行われ、交響詩「魔法使いの弟子」など10曲が披露されました。

### ■インターネット安心講座

11月11日、中学校で、全校生徒と保護者を対象に行われ、個人情報、簡単に他の人に漏れてしまう怖さやツイッターののっとりなど、パソコンやスマートフォンを安易に使わず、自分の身を守る大切さを学びました。

### ■インフルエンザによる学級閉鎖

小学校では、12月4日からインフルエンザA型による欠席児童が増加し、同月9日から12日の間1・2・5・6年生がそれぞれ学級閉鎖となりました。

## 生涯学習関係

### ■文化祭

10月24日から28日までの5日間文化会館で、第40回文化祭作品展示会が開催され、8団体・19個人から385点の作品展がありました。

また、文化の日の11月3日、第47回文化祭発表会も開催され、加盟10団体が日頃の練習の成果を披露しました。

### ■ふるびら通学合宿

家庭での望ましい生活習慣の定着を図るため平成23年度より実施しているふるびら通学合宿が11月6日から8日までの2泊3日の日程で行われ、13名の児童が参加しました。家庭に戻ってから継続してできるよう保護者プログラムを設け、参加した保護者から多くの質問が出るなど内容の濃い合宿となりました。

### ■生涯学習講演会

11月28日、文化会館で町長を講師に「古平の未来」と題した講演会が行われました。38名の町民が参加し、今後もこのような講演会を開催してほしいとの意見がありました。

### ■ロードレース大会

体育の日の10月13日、第39回ロードレース大会が行われ1126名(町内200名、町外926名)の参加者が心地よい汗を流しました。

## 第4回定例会で審議された案件

12月18日から開会した第4回定例会では、次の案件が審議されました。

### 〈選挙第1号〉

#### 副議長選挙について

欠員となっていた副議長選挙を行うもので、議長の指名推薦により岩間修身議員が選出されました。

### 〈選挙第2号〉

北しりべし廃棄物処理広域連合議会議員の選挙について

欠員となっていた北しりべし廃棄物処理広域連合議会議員選挙を行うもので、議長の指名推薦により岩間修身議員が選出されました。

### 〈議案第55号〉

〈原案可決〉

平成26年度古平町一般会計補正予算(第8号)

現行予算に8930万5千円を追加し予算総額を35億5235万9千円とするものです。主な内容は冬の給付金助成事業やふるさと納税贈呈品事業等に係る費用等を増額補正するものです。

役場 議会

〈議案第56号〉 〈原案可決〉

平成26年度古平町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

現行予算に4599万6千円を追加し予算総額を2億4835万3千円とするものです。主な内容は、後志広域連合への分賦金の増額に伴い繰入金を増額補正するものです。

〈議案第57号〉 〈原案可決〉

平成26年度古平町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

現行予算に5万2千円を追加し予算総額を7220万3千円とするものです。主な内容は、前年度決算が確定したことに伴い繰越金を増額補正するものです。

〈議案第58号〉 〈原案可決〉

平成26年度古平町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第3号)

現行予算に548万7千円を追加し予算総額を5555万7千円とするものです。主な内容は、前年度決算が確定したことに伴い繰越金を増額補正するものです。

〈議案第59号〉 〈原案可決〉

古平町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例案

子ども・子育て関連3法の施行に

伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるものです。

〈議案第60号〉 〈原案可決〉

古平町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例案

子ども・子育て関連3法の施行に伴い、家庭的保育事業等の運営に関する基準を定めるものです。

〈議案第61号〉 〈原案可決〉

古平町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案

子ども・子育て関連3法の施行に伴い、放課後児童健全育成事業の運営に関する基準を定めるものです。

〈同意第3号〉 〈原案同意〉

古平町監査委員の選任について

古平町監査委員として長谷川浩作氏を選任するために地方自治法第196条第1項の規定により議会の同意を求めます。

## 2月7日は北方領土の日

1855年(安政元年)2月7日、伊豆の下田で「日露通好条約」が結ばれ、日本とロシアは択捉島とウルップ島の間に国境を定め、択捉島以南の北方四島を日本の領土として国際的に明らかにしました。

この歴史的な意義を持つ2月7日は、平和的な話し合いで領土返還を要求する北方領土返還要求運動推進の目的に最も適した日であることから、「北方領土の日」として設けられています。

2月7日を中心とした1ヶ月間(1月21日(水)～2月20日(金))を北海道独自に「北方領土の日特別啓発期間」として定め、重点的な四島返還要求運動の実施を図ります。啓発事業等を展開いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### ◇お問い合わせ

北方領土復帰期成同盟後志支部  
☎0136-22-0216

## 2月の休日当番病院

◇2月1日(日)  
北郷耳鼻咽喉科医院  
(☎23-5533)

◇2月8日(日)  
佐野内科クリニック  
(☎22-7001)

◇2月11日(水)  
勝田内科皮フ科クリニック  
(☎22-3843)

◇2月15日(日)  
中島内科  
(☎22-3866)

◇2月22日(日)  
ながい小児科医院  
(☎23-6881)

※当番医の診療時間は9時～17時まで

※夜間については余市協会病院で急患に限り診療しております。

診療時間 午後6時～翌午前7時  
診療科目 内科、小児科、外科、  
整形外科



12月20日に行われた点灯式ではカウントダウンの合図で赤・青・白の電飾が光ると、約170名の参加者から大歓声と拍手が沸き起こりました。お菓子の詰め合わせがもらえるビンゴゲームも行われ、子どもたちは一足早いクリスマスプレゼントに喜んでいました。

実行委員長は「30回目開催に向けて、少しでも長く続けられるよう、細々とですが頑張っていきたい」と



子どもたちは、「友だち」、「世界を結ぶ」、「自然を守る」、など学年ごとの手本を見ながらおおよそ1時間かけて作品を書き上げました。

齋藤みくるさん(小6)は「書くのが難しい字だったけど、頑張って上手にでき上がったので良かった」と話してくれました。

この日書き上げた子ども



# 4000個の電飾が夜空を彩る

## 役場前 イルミネーション 点灯式

町役場前のイチヨウとオンコの木計3本にイルミネーションが取り付けられ、年末年始の夜を彩りました。

町職員有志でつくる実行委員会

話していました。

イルミネーションは、1月4日までに点灯されました。

# 真剣な表情で筆を走らせる

## 平成27年 書き初め大会

1月8日、文化会館太陽ホールで、新年恒例の書初め大会(教育委員会主催)が行われ、小学生から中学生まで37人が参加しました。

講師を務めた町内で書道教室を開いている三浦愛子さんは「元氣な作品を作るためには筆にたくさん墨をつけて手本を良く見てください」とアドバイス。

もたちの作品は、1月16日まで、文化会館ロビーに展示されました。



12/15(月)

「現金管理と戸締りをしっかりと」～防犯協会 歳末防犯パトロール

全道一斉の歳末特別警戒（12月15～31日）に合わせ、古平町防犯協会（内田正雄会長）が12月15日夜、「歳末防犯パトロール」を行いました。消防団員や警察署員など約30人が参加。

パトロールに先立ち、文化会館で行われた出陣式では、内田会長が「パトロールのような小さな運動を積み重ね継続することによって、犯罪の防止、抑止力になります。皆さんの協力をお願いいたします」とあいさつをしていました。

パトロールでは、参加者は3班に分かれ、町内の各商店を回り、「現金管理と戸締りをしっかりと」、「火の用心」、「特殊詐欺に気をつけて」と啓発品を配りながら呼びかけました。



12/25(木)

「サンタさんに会えてうれしい」～幼児センター クリスマス会

12月25日、幼児センターでクリスマス会が行われました。クリスマス由来を知り、興味や関心を持つて会に参加することを目的に毎年開催されています。

会の始めに担当保育士がクリスマス由来を説明。その後、サンタクロースが登場し園児全員にプレゼントが配られると大喜び。園児たちはプレゼントのお礼に「きらきらぼし」など2曲をハンドベルで演奏、サンタクロースを囲んで「ジングルベル」の歌に合わせて踊りを披露しました。

たいよう組の本間柚亜ちゃんは「サンタさんに会えてうれしい。プレゼントももらえて楽しかった」と嬉しそうに話してくれました。



1/11(日)

「海上安全・豊漁祈願」～古平救難所出初め式・船魂祭

1月11日、東しやこたん漁協本所で、海難救助活動を行う古平救難所の出初め式と船魂祭が行われました。

出初め式には20人が出席。松尾英二所長が「古平では4年間海難事故は発生していない。所員の皆さんには日頃の漁船点検等をしっかり行い無事故操業に努めていただきたい。また、救難所としては、関係者のご指導とご支援を受けながら、海難防止活動・救助活動に万全を尽くしたい」と挨拶し、所員一同、心をあらたにしました。

また、船魂祭では祭壇が作られ、出席者による玉串奉典などが行われ、海上安全や豊漁祈願、漁家の繁栄が祈念されました。



上段 救難所出初め式



下段 船魂祭

## 国や道などからのお知らせ

### 【各種自衛官等の募集】

自衛官候補生(男子)、予備自衛官補(一般・技術)、を募集します。

#### ◇お問合せ先

自衛隊札幌地方協力本部小樽地域事務所 0134-22-5521

### 【さくらます船釣りライセンス制】

船釣りライセンス制は、さくらます資源の保護と適切な魚場利用調整を図るため、海区漁業調整委員会の指示に基づき、一定のルールのもとで船釣りをを行う仕組みです。

#### ○実施期間

平成27年3月1日～平成27年5月15日

詳細は左記にお問合せください。

#### ◇お問合せ先

後志管内さくらます船釣りライセンス制実行協議会事務局  
0134-22-5138

### 【NHK学園 生徒募集】

NHK学園では、次のとおり生徒・受講者などを募集しています。

#### ○募集内容

無料の案内書をご請求ください。  
通科(3年制)生徒、社会福祉士養成課程(1～2年)生徒および生涯学習通信講座受講者

#### ○出願期間

▽高等学校普通科 平成27年4月30日まで  
▽社会福祉士養成課程 平成27年2月25日まで

▽生涯学習通信講座 通年

#### ◇お問合せ先

NHK学園  
042-572-3151  
案内書請求フリーダイヤル  
0120-06-8881

### 【確定申告のお知らせ】

平成26年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告の相談及び申告書の受付は、2月16日から3月16日までです。確定申告書は、国税庁HPの「確定申告書等作成コーナー」(<https://www.keisan.nta.go.jp>)で作成し、印刷して郵送等により提出することが出来ます。税務署などの確定申告会場にお越しの際には、「前年の申告書控え」、確定申告に必要な書類及び印鑑をご持参ください。税務署の閉庁日(土・日曜日、祝日等)は、税務署での確定申告受付は行っておりませんので、ご注意ください。

#### ◇お問合せ先

余市税務署 22-2093

### 【復興特別所得税の記載漏れに注意】

東日本大震災からの復興のための財源を確保するため、平成49年分まで、復興特別所得税(原則として各年分の所得税額の2.1%)を所得税と併せて申告・納付することとされています。確定申告書の作成に当たっては、記載漏れのないようご注意ください。なお、還付申告の方も

含め、申告される全ての方について記載が必要となります。

#### ◇お問合せ先

余市税務署 22-2093

### 【公的年金等を受給されている方へ】

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税及び復興特別所得税の確定申告が不要です。(源泉徴収された税額の還付を受ける場合などは、確定申告書を提出することができます) 税務署への確定申告の必要がない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。住民税に関する詳しいことは左記にお尋ねください。

#### ◇お問合せ先

余市税務署 22-2093  
役場財政課課税係 42-2181

### 【平成26年分消費税課税事業者のみなさまへ】

消費税(地方消費税含む)の税率は平成26年4月1日から8%です。平成26年分の消費税及び地方消費税(個人事業者)の確定申告書は、課税取引を旧税率(5%)が適用されたものと新税率(8%)が適用されたものとに区分した帳簿等に基づき作成する必要があります。なお、平成26年4月1日以後に行われる取引であっても、経過措置により旧税率が適用される場合があります。おつ

て、消費税の確定申告書を提出される方は、該当する付表を添付してください。詳しくは、国税庁HPの「消費税法改正のお知らせ」(<http://www.nta.go.jp>)をご覧ください。

#### ◇お問合せ先

余市税務署 22-2093

### 【法人道民税等の申告等を電子で】

法人道民税・事業税及び地方法人特別税の申告及び各種申請・届出を電子で行うことができます。ご利用にあたっては、地方税ポータルシステム(エルタックス)のHP(<http://www.eltax.jp>)から利用開始の手続きが必要になります。

#### ◇お問合せ先

札幌道税事務所税務管理部課税第一課 011-281-7834

### 【しりべし地方税合同公売会開催】

北海道と後志管内市町村が滞納処分により差し押さえた物件の公売を合同で実施します。

#### ○日時

平成27年2月12日 11時30分

#### ○会場

後志総合振興局1階道民ホール

#### ○公売方法

「入札」当日、身分証明書、買受代金(現金)、印鑑が必要です。

#### ◇お問合せ先

後志総合振興局税務課  
0136-23-1334

# いきいき・ほのぼの文芸

## 古平町岬短歌会

ゆく秋を惜しむかのやう草木たち夕日に染まりひと時はなやむ

離れ住む息子等の好む沢庵を今日漬け終へぬ我が家の味に

霜月の静けき入り日雪雲のほぐれしあたりをうつすら染めて

久々に友への便り書きながらふと想ひ出づ遠きふるさと

黄のうすき三本仕立ての鉢の菊花弁細く品よく咲きぬ

金子寿子

坂本信子

鈴木時子

田中香苗

寺田カツ子



## 古平俳句会

鈍色の空に溶け行く冬の海  
冬の雲海に転じて波騒ぐ

渡辺嘉之

立冬や風吹き荒ぶひと日なり  
冬紅葉それぞれの色番屋跡

高橋重子

寒風に晒して旬の魚焼く  
牡蠣祭軍手せわしく人招き

山口哲

かの冬日病み臥す兄を癒しくれ  
初雪やこれより心定まれり

室谷弘子

大根を洗ふ手元を何か飛ぶ  
街並みはやせるばかりに木の葉舞ふ

仲谷比呂子



## まちの事件簿



平成26年（1月1日～12月31日）  
中において発生した事件・取扱件数は次のとおりでした。

### ◆刑法犯関係

- ・金庫破り 1件
- ・倉庫荒らし 2件
- ・小屋荒らし 2件
- ・部品盗 1件
- ・器物損壊 3件
- ・強制わいせつ 1件



### ◆交通事故関係（ ）内は負傷者数

- ・人身事故 1件（2人）
- ・物損事故 49件

【余市警察署古平駐在所

☎4212044】

ご寄付いただき誠に  
ありがとうございました(敬称略)

◎現金

100,000円  
阿部敏則(札幌市)

### おたんじょうおめでとう

氏名	生年月日	保護者	町内
齋藤 志聖ちゃん	12・10	亮さん	新地町
木村 尊ちゃん	12・26	優さん	旭町

### ご冥福をお祈りいたします

氏名	年齢	死去月日	町内
村上 義一さん	78歳	12・18	御崎町
小林 延康さん	83歳	12・30	港町
小野 キヌさん	83歳	1・4	旭町
吉田 鉄雄さん	72歳	1・5	本町
鵜沼 キエさん	91歳	1・7	新地町



### 町の人口と世帯数

	人口	世帯数	前月比
人口	3,397人	1,845世帯	(-4)
男	1,603人		(-2)
女	1,794人		(-2)
世帯数	1,845世帯		(+2)
外国人	34人		(0)
男	2人		(0)
女	32人		(0)

(平成26年12月末日現在住民基本台帳人口)